

研究課題名	肝内胆管癌治療戦略樹立を目指した腫瘍微小環境解析
研究の意義・目的	<p>癌および周囲の細胞には、癌の発育を促進するための血管新生や宿主の免疫から逃避するための分子が多く発現しており、これを腫瘍微小環境と呼びます。この腫瘍微小環境内の特徴を解析することで、それらをターゲットにした治療薬（近年では免疫チェックポイント阻害薬など）の有効性が示されることがあります。しかし肝内胆管癌における腫瘍微小環境の特徴についてはまだ明らかになっていません。これを解析し明らかにすることで、あらたな肝内胆管癌治療戦略樹立を目指します。</p> <p>本研究は大阪公立大学が中心となって行う研究です。</p>
研究を行う期間	「機関の長の実施の許可日」～ 2027年3月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	1998年1月～2025年12月に大阪公立大学医学部附属病院の肝胆膵外科で、肝内胆管癌の治療のため手術された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>試料：【病理組織】</p> <p>診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、CT画像】</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究は 金沢大学人体病理学教室へ頂いた試料・情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	<p>大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 研究責任者；木下 正彦 講師</p> <p>金沢大学 人体病理学教室 研究責任者；佐藤 保則 准教授</p>
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 研究責任者 木下 正彦 講師
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学</p> <p>（担当者氏名）木下 正彦</p> <p>電話番号：(06) 6645-3841</p> <p>メールアドレス：p21752h@omu.ac.jp</p>